



# ひろしまええとこ通信



題字は「広島市手をつなぐ育成会 佐伯区支部」の尾形由基さんに書いていただきました!



## WITH コロナ～コロナに負けない地域活動～

### 南区 青崎地区社会福祉協議会 「心を込めて 手作りマスクの作成・配布」

青崎地区社協では、コロナ禍だから何もできないではなく、コロナ禍でも地域のこれまでのつながりを絶やさないよう、できることを考えて、7～9月の間、マスク作りをしていただける方、マスクの生地・ゴムなどを提供していただける方を募集しました。

その結果、15名（名前を出されない方からも多数お手伝いいただきました）が集まり、約900枚のマスクが完成しました。

青崎地区の小中学生、70歳以上の独居高齢者、80歳以上の方全員に、手作りマスクと消毒スプレートのセットが、あたたかい心と一緒に届けられました。

退職後に自宅で引きこもっていた方からは、『得意の裁縫で地域活動に参加でき、楽しかった』とのうれしい感想もありました。

「集める」から始まった活動ですが、人と地域を思う方々の「集まり」に変化し、優しさに溢れた活動となりました。



心を込めて手作業しました!!

### 安佐南区 安学区社会福祉協議会ボランティアバンク「安らぎ会」 「お互いの安心のための『安らぎセット』」

ボランティアバンク「安らぎ会」では“日常生活のちょっとした困りごと、お手伝いします”をコンセプトに、地域の応援団として活動しています。コロナ禍でも依頼におこたえできるように、準備したのが『安らぎセット』と名付けたバスケットです。

#### 安らぎセット



#### 『安らぎセット』の中身

- ★使い捨てマスク・消毒液
- ★手袋（ビニール、ゴム）
- ★エプロン（ユニフォーム）
- ★除菌シート、フェイスシールド
- ★虫よけスプレー、シャツクール（夏用）

※消耗品は安らぎ会がストックし、必要に応じて補充



支援の時に持参します!!

各地域に配したコーディネーター10名が、それぞれ保管し、依頼があれば活動者に届け、活動者は、その時必要と思われる物を使用します。双方の安心につながればと願っています。

オンラインでもつながる！！  
「わが町の認知症応援団！！～認知症に優しい地域づくりを考える講座～」  
(西区井口台地区)



オンライン講座に参加した方の  
タブレット画面



離れてもつながる方法のひとつ！

井口台地区社会福祉協議会では、井口台・井口地域包括支援センター、広島市認知症アドバイザーの木田さんと協力し、「わが町の認知症応援団！！～認知症に優しい地域づくりを考える講座～」を通常の会場参加に加えて、Zoom を活用しオンラインでも参加できるようにして開催されました。

感染対策のために、講師の方が自由に地域の研修会に出られなかったり、密を避けるために会場への参加が制限されたりする中、タブレットを活用し、Zoom にて「オンラインでの参加」もできれば、これまで通りつながりあえるのではと企画されました。

初めての試みではありましたが、「会場には多く集まれないけど、オンラインでもいつも通り地域のみんなと一緒に勉強ができた」と、好評だったとのことでした。

地域活動にオンラインの方法も加えることで、プラスαの参加の選択肢ができ、「日頃から集まりづらい人や集まれない状況を改善すること」につながります。地域の担い手が不足する中、これまで以上に色々な人が地域活動の中で「つながる」きっかけにもなっていけばいいですね。

ご存じですか!? 地域の支えあいを応援する「生活支援コーディネーター」

市・区社協にいる「生活支援コーディネーター」や地域包括支援センターにいる「支えあいコーディネーター」は、それぞれの地域の「あったらいいな」や「できたらいいな」を一緒に考えさせていただき、地域の「支えあい」「たすけあい」等の支援を行っています。

地域の实情に合った仕組みづくり、コロナ対策等の新たな生活様式に合わせた活動の検討等、他の地域の事例等も紹介しながら、地域のたすけあい活動を一緒に考えていきます。



地域包括支援センター



区社協・市社協

<各地で実践されている『ええところ』をお寄せください！>

「ひろしまええところ通信」は地域の好事例（ええところ）を今後、広くご紹介していきます。  
「うちの地域でこんな活動しとるよ!」「気になる人と工夫してつながるようにしとるよ!」  
そういった地域活動に関する耳寄りな情報を教えていただき、定期的に発信していくことで、「ひろしまのええところ」をみんなで共有できる情報紙を目指します。

耳寄り情報は、市・区社協にいる生活支援コーディネーターへご連絡ください!

